

⑬ 日本国特許庁 (JP)
 ⑭ 公開特許公報 (A)

⑮ 特許出願公開

昭59—77924

① Int. Cl.³
 B 60 K 13/00
 17/06
 F 16 H 57/04

識別記号

庁内整理番号
 7725—3D
 7721—3D
 7526—3J

② 公開 昭和59年(1984)5月4日

発明の数 1
 審査請求 未請求

(全 4 頁)

③ 自動2輪車のVベルト変速機冷却装置

浜北市小松1093番地

④ 特 願 昭57—190246

⑤ 発 明 者 藤岡幸雄

浜松市富塚町130番地の15

⑥ 出 願 昭57(1982)10月28日

⑦ 出 願 人 ヤマハ発動機株式会社

磐田市新貝2500番地

⑧ 発 明 者 中山善晴

明 細 書

1 発明の名称

自動2輪車のVベルト変速機冷却装置

2 特許請求の範囲

1 エンジンの出力軸と後車輪の車軸とを連結するVベルト式変速機のケースを車体後部に水平方向に配して懸架した自動2輪車において、前記ケースの直上とその後手方向に於いてエアクリーナ室を配し、前記ケースの一面とエアクリーナ室の出入口とをダクトで連通すると共に、ケースの他面と排風口とを開口させてなるVベルト変速機冷却装置。

2 前記エアクリーナ室はエンジンの後方用エアクリーナ室内に形成されている第1吸気室のVベルト変速機冷却装置。

3 発明の他の発明

この発明は特にスタータ用として好適なVベルト式変速機の冷却装置に関するもので、変速機のケースとそこへ冷風を送風するエアクリーナとを合理的に配置し、小型にまとめること

を目的とするものである。

以下、この発明を添付の図面利によって説明する。1はスタータの車体部を示し、車体部1は後部部1から一旦、下方へ伸び水平方向へ屈曲する変速機の前方部材1と前方部材1の後部から上方へ折れ上方へ伸びる後方部材10及びそれらの連結部を強化する横板部のアラケット14とをそれぞれ溶接連立してなる。2は車体部1に取付けた燃料タンク、3は排気管であり、それらはカバー4によって覆われている。5は排風のシートである。車体部1の後部には、エンジンと変速機とからなる動力ユニット6が搭載されている。その動力ユニット6は後部に後車輪7を有し、駆動部8と車体部1に回転自在に支持された、いわゆる、ユニットスイング式である。動力ユニット6の前部はエンジン9をなし、クラッチ室8内にクラッチ軸8aを有する。一方、動力ユニット6の後部をなす変速機10は水平方向に配されたケース9と、その内部に収容された駆動プーリー11、従動プー

77924(2)

12及びそれらの間に導かれた4ペル、13と有する。すなわち、タラント船80の船底に4ペル、13がスクリューによりそれぞれ取付けられ、過心血輪14の作用により互に近接し、漸進するよう公知の如く形成されている。

15は受通強サースの一端に前記固定口11
の中心部に位置して開口させた送風口であり、
16は固定口11との側面に設けた送風口であ
る。

17は炭素化合物の系にその長手方向に
沿って起出したエタクリン系であり、その
生出口はゴム管18より、前記生出口15に
通じている。19は炭素化合物の系に
沿った生出口である。エタクリン系17
は両端で示すようにエンジン²⁰の駆動用エタ
クリン系内に形成されてゐる。すなわち、エ
タクリン系は2種の系を包含し、それらの間
に一定の速度差を有する流路のフィルムを
維持している。内層は例題17、18より2室に
分けられ、大室17は生出口17、18より大

気を通じ、さらに出口174によりエンジンの
 燃気通路へ送っている。他の小室が冷却用のエ
 アトリヤ室17であり、このエアトリヤ室
 は小孔17bを通して大気へ送っている。

年、大正17年には第5回中候選時で第2の選出を遂げ、これをエニジンの汽
 化器25の供給用強氣通路に、主燃氣通路から
 抽出して配管し、フィルタを共用することも
 する。31はその吸入口、32は出口である。

21はカバー4K取付けた英京口であり、車道の運動ファン22Kによって外気を吸入しカバー4K内、すなわちエンジン室の温度上昇を知知しようとするものである。もちろん、これとは逆Kエンジン室の温度を外感へ排出するようKファンを作動させてもよい。

次にこの浸透流の作用を説明すると、タンク越えが容易だと、浸透量11.0の浸透流14より、その中心部の空気が反対方向へ通られ、浸透係数より内を最初プーリー1から最初プーリー12へ向かって浸出し、浸透の動向

11へ差込む間、ケース9内を冷却し、その温度を調べる。温度15から40度に入される空気は前記エアーリーナ第17で循環を繰返されているので、バレル13又多アリー1、12を換えることがない。また、このエアーリーナ第17はエンジン用と一体的に設けられ、フィルタも共用されているので、構造が簡単であり、製造用ケース9と一体的にコンパクトに構成される。

この発明は以上のようなエンジン出力軸と
発電機の軸とを連結するアバウト式変速機
ケースを縦向きに水平方向に配して居るし
た自動回転機において、前記ケースの直上
にその水平方向に沿ってエアリーナ盤を配
し、前記ケースの一端とエアリーナ盤の出
口とを連結して居るに、ケースの反対側
に排気口を開口させたものであるから、
この発明はエアリーナ盤とエ
ンジンとの配設を小形化できる効果がある。

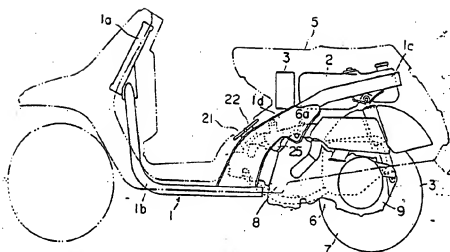
4. 活動の歴史と現状

出面はこの表の第一の表例を示すものであり、第1面は自由端の表例を示す側面図、第2面に動力ユニットの一部を破断した平面図、第3面はその一部を破断した側面図、第4面は拡大して示すN-N断面、第5面はV-V断面図である。

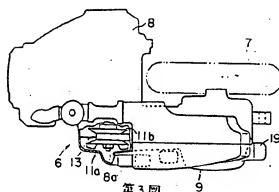
6 b ... 英語、 9 ... 英語の「一」ス、
11 ... 英語の「一」リ、 12 ... 英語の「一」リ
16 ... 英語、

特許出版人 十ノハ発動機株式会社

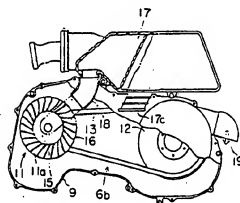
第1圖



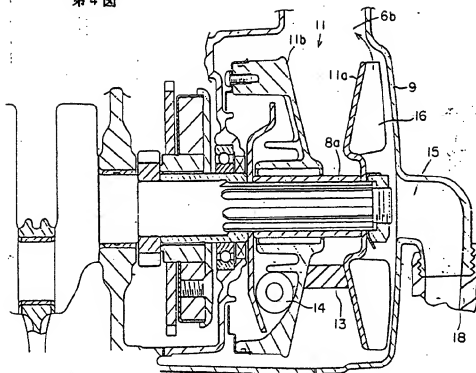
第2圖



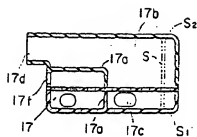
第3圖



第 4 図



第 5 図



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 59-077924
(43)Date of publication of application : 04.05.1984

(51)Int.Cl.

B60K 13/00
B60K 17/08
F16H 57/04

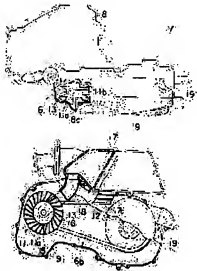
(21)Application number : 57-190246 (71)Applicant : YAMAHA MOTOR CO LTD
(22)Date of filing : 28.10.1982 (72)Inventor : NAKAYAMA YOSHIHARU
MORIOKA YUKIO

(54) COOLER FOR V-BELT CHANGE GEAR OF AUTOBICYCLE

(57) Abstract:

PURPOSE: To miniaturize the constitution of engine room by a method in which one side of a case is led to the discharge port of an air cleaner chamber with a duct, and an exhaust port is provided on the other side of the case.

CONSTITUTION: When a crankshaft 8a turns, air in the central part of the shaft 8a is sent toward the radial direction by the air blow blade 16 of a fixed tray 11a. The air is flowed from a drive pulley 11 to a follow pulley 12 in the case 9 of a change gear to cool the inside of the case 9 during the period when it goes to the air exhaust port on the rear side, whereby preventing the overheating of the case. Since the air introduced from the air supply port 15 is deprived of dust in an air cleaner chamber 17, no damage to the pulleys 11 and 12 and the V-belt 13 occurs. Since the air cleaner chamber 17 is integrally provided for engine and the filter is used in common, the structure of the cooler is simple in an integral and compact form with the change gear case 9.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]
[Date of sending the examiner's decision
of rejection]
[Kind of final disposal of application
other than the examiner's decision of
rejection or application converted
registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998, 2003 Japan Patent Office